



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2025 08 21

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科の説明（是非ご参加ください）（3階 303教室）
 - ①10:05～10:25 ②12:50～13:10
- ◆ 模擬授業（3階 303教室）
「AI時代の薬剤師の役割を考える」
 - ①10:25～10:45 ②13:10～13:30
- ◆ 薬育デモンストレーション（3階 303教室）
「実際の“薬育”の様子を見てみよう！」
 - ①10:45～10:55 ②13:30～13:40
- ◆ 体験実習（3階 318教室）
「軟膏の混合調剤を体験してみよう！」
 - ①11:10～11:40 ②13:00～13:30 ③13:30～14:00
 - ④14:00～14:30 ⑤14:30～15:00
- ◆ 薬剤師の仕事体験（4階 436教室 SGDルーム） 10:00～15:00
 - 1) 「患者シミュレーターを使った、フィジカルアセスメント体験」
 - 2) 「Webシステムを使った、オンライン服薬指導体験」
- ◆ オープンラボ（4階 413研究室） 10:00～15:00
「骨だけではない！生命活動をカルシウムで理解する」
- ◆ 学生交流・進学相談（4階 436教室） 10:00～15:00
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
- ◆ 薬用植物園見学（7階 エレベーター横） 10:00～15:00



模擬授業 (10:25~10:45 13:10~13:30)

303教室 (3階)

AI時代の薬剤師の役割を考える

みなさんが薬剤師になって活躍する頃には、医療にもAIや機械がたくさん活用されているかもしれません。薬剤師の仕事は、AIや機械に奪われてしまうのでしょうか？今回は、一つの事例を通じて薬剤師の役割について考えてみたいと思います。AI時代に薬剤師がすべきことはなんなのか。今後の数年間（きっと永遠）の薬剤師の役割について考えてみたいと思います。



助教 吉田 貴行

実践地域連携ユニット

城西大学薬学部薬学科卒業。保険薬局の薬剤師として16年間地域医療に関わり、現在も薬局薬剤師を兼職中。

（一社）松戸市薬剤師会専務理事、学校薬剤師、介護認定審査員、（一社）千葉県薬剤師会の委員会活動など現任。縁あって、現在に至る。

薬剤師の役割は、急速に変化しています。薬局薬剤師の「実学」を通じて社会の役に立ちたいと思っています。

“薬育”デモンストレーション 実際の“薬育”の様子を見てみよう！

会場・時間

学科説明会場 (3階 303教室)

第1回 10:45～ / 第2回 13:30～

(学科説明、模擬授業の後、10分間で行います)

- 現在薬剤師は、地域住民の予防や未病に積極的に係る健康サポート役割が求められています。
- “薬育”とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止など健康な身体をつくるための教育活動です。
- 本学では2018年に開始し、2021年からは地域連携部の学生を中心に、継続的に行っています。
- 2年生後期のセミナー科目でも、学生同士で行う“薬育”を取り入れています。
- 実際に学生が行っている様子をご覧ください！



- 担当 薬育・地域連携委員会 地域連携部

体験実習

軟膏の混合調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

11:10～11:40/13:00～13:30

/13:30～14:00/14:00～14:30 /14:30～15:00

学科説明の前、それ以降は318で整理券を配布します

- 薬剤師は、処方箋に基づく調剤を行う際、錠剤、散剤、水剤、外用剤など様々な剤形を扱います。
- 調剤は、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して包装したり、容器に充填することが必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！



- 担当 薬学臨床教育研究センター
社会薬学教育研究センター

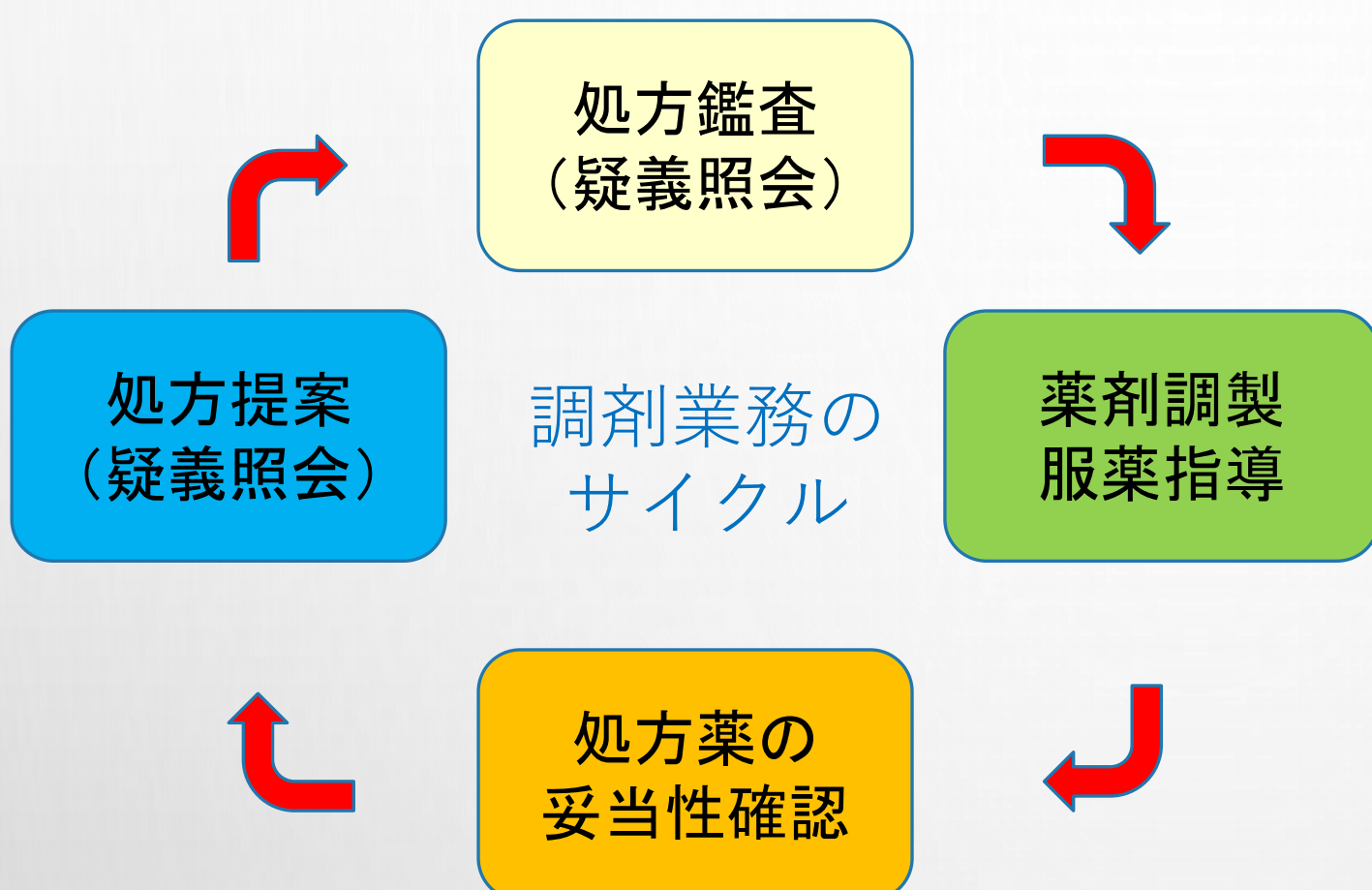
薬剤師の仕事体験

- 1) フィジカルアセスメント体験
- 2) オンライン服薬指導体験

場所: SGDルーム(4階 436)

時間: 10:00 ~ 15:00

フィジカルアセスメント体験: 薬剤師が視診や聴診、触診などによって患者さんの全身状態を評価すること、いわゆる「フィジカルアセスメント」を行うことにより、副作用の早期発見や薬物の効果判定に寄与することが出来ると期待されています。



お薬はちゃんと効いているのか？
副作用は出ていないか？

薬剤師からの聞き取り
患者さん自身の訴え
患者さんの外観
臨床検査の値



薬剤師に求められる新たな技術

皮膚の状態、むくみ、脈拍
呼吸の音
心臓の音
お腹の音

基本的項目

フィジカルアセスメント

オンライン服薬指導体験: 高齢化や介助者不足などにより通院や来局が困難な患者に対しても、薬剤師と患者の信頼関係を常に継続することが可能となります。また薬局内での感染リスクの回避にもつながります。

担当:
濃沼政美、佐村優
青木一真 吉田貴行



オープンラボ 骨だけではない！ 生命活動をカルシウムで理解する

会場：413 研究室（4階）

時間：10:00～15:00

『カルシウムって体の中で何をしているのでしょうか？』と尋ねると、多くの人から『骨！』という答えが返ってきます。間違っている答えではありませんが、カルシウムは多くの私たちの生命活動に関わっています。筋肉を動かす、血液中の血糖を下げる、そして神経が活動するためにカルシウムはなくてはなりません。



私たちはまだ不明な点が多く存在する生命活動を明らかにするためにカルシウムという観点から研究を行っています。今回のオープンラボでは細胞の中のカルシウムを測定する機器を見学していただき、カルシウムが関わる身近な出来事について話したいと思います。

担当：生理・病態学ユニット

石井 正和

山本 伸一郎

おすすめコース

Aコース

調剤体験(318)



学生交流・相談(436)



薬剤師の仕事体験(実習)
(436)



オープンラボ(413)



薬草園
(7階エレベーター横)

Bコース

薬草園

(7階エレベーター横)



オープンラボ(413)



学生交流・相談(436)



薬剤師の仕事体験(実習)
(436)



調剤体験(318)